

登録コード:MH416200 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	精神障害作業治療学 【20M以降】 Occupational therapy for mental health			
担当教員	小林 正義			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻/2年 後期 火曜・3時限			
単位数、講義室	1単位	保健学科121講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		精神保健医療福祉の歴史と現在の課題および作業療法の理論とモデルを理解し、精神障害作業療法の実践力を身につける。	
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		心身の健康と作業療法の役割を説明できる人のライフサイクルと生活課題について説明できる	
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		回復過程に応じた作業療法の役割を説明できる作業面接の技術について説明できる	
授業で学べる「テーマ」	その他			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	精神保健医療福祉の歴史を学び、精神障害リハビリテーションの基本的視点を学習します。精神障害作業療法に関連する理論とモデル、障害・健康概念の変遷と心身の健康に貢献する作業療法の基本的役割、およびその基本的実践論について理解を深めることを目的とします。この授業は、3年次の「精神障害作業治療学」および「精神障害作業治療学特論」に関連する基礎知識を学びます。本授業は、担当教員の精神医療・保健・福祉領域の作業療法実践の経験を活かして講義を行います			
授業計画	第1回（9月29日）精神医療の歴史と作業療法-1 第2回（10月6日）精神医療の歴史と作業療法-2 第3回（10月13日）障害概念の変遷と作業療法の理念 第4回（10月20日）精神保健医療福祉の流れと作業療法の役割 第5回（10月27日）心身の健康と生活・作業、ライフサイクルと生活課題 第6回（11月10日）作業活動を介した回復支援と生活支援 第7回（11月17日）精神分析と対象関係論 第8回（11月24日）治療構造論、森田療法＜中間試験＞ 第9回（12月1日）芸術療法、園芸療法 第10回（12月8日）認知行動療法 第11回（12月15日）社会生活技能訓練SST 第12回（12月22日）心理教育・リカバリーモデル 第13回（1月5日）作業療法構造と実施形態 第14回（1月12日）作業療法実践のプロセス 第15回（1月19日）作業面接の技術（授業アンケートの実施） 第16回（1月26日）＜期末試験＞			
授業の進め方	授業はテキストとスライド・配付資料を使って行います。能動学習を促進するためにeALPSに資料をアップし、予習・復習を通して学んだ内容に関する質疑応答を行います。			
テキスト、教材、参考書	【テキスト】 1）富岡詔子，他・編：作業療法学全書改訂第3版第5巻,精神障害（協同医書出版） 2）香山明美，他・編：生活を支援する精神障害作業療法第3版（医歯薬出版） 3）香山明美，他・編：作業療法の面接技術（三輪書店） 【参考書】 1）秋元波留夫，他・編：新作業療法の源流（三輪書店） 2）八木剛平，他：精神病治療の開発思想史-ネオヒボクラティズムの系譜（星和書店）			
成績評価の方法	中間試験，期末試験に基づいて総括的に成績を評価します。総括評価の配分は，中間試験50％，期末試験50％とし，総計の60％以上の得点を合格とします。中間試験は第8回（11月24日），期末試験は第16回（1月26日）に筆記試験を実施します。中間試験と期末試験では，精神医療の歴史，心身の健康と作業療法の役割，ライフサイクルと生活課題，回復状態に応じた作業療法の治療構造，作業療法の基礎理論の理解度を確認します。試験結果については実施後にフィードバックします。			
成績評価の基準	中間試験および期末試験の判定基準は以下の通りとします。 90-100点：秀 80-89点：優 70-79点：良 60-69点：可 なお，これらの採点の基準は，達成目標に関連した設問に対する選択肢解答の正誤だけで			

成績評価の基準	なく、記述式解答における用語の適切さ、説明内容の範囲の広さや詳細さ、説明内容の論理的な妥当性などを指標とし、授業で説明した範囲における最低限の解答内容であれば「水準にある」、やや詳細な解答内容であれば「やや上にある」、十分に詳細な解答内容であれば「かなり上にある」、授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学修した詳細な解答内容であれば「卓越している」と判定します。
事前事後学習の内容	本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間 【事前学習】 毎回の授業の終わりに次回までに行ってくる課題を指示します。講義資料の一部は能動学習を目的にeALPSにアップします。 【事後学習】 毎回の授業の終わりに課題について教科書や参考書で再確認し理解を深める箇所を指示します。指示された箇所は中間試験・期末試験の範囲となります。
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	精神保健医療福祉は改革期を迎え急速に変化している。精神障害とは何かを理解し、作業療法の背景にあるリハビリテーションの理念、モラルトリートメントから始まった作業療法的人道的視点と今日の課題を十分認識してください。 質問への対応：小林正義 mkobaya@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：火曜日 12：10-13：00 保健学科南校舎2階 小林研究室